

安倍総理の和歌山県訪問について（高野山）

「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」の策定に向けた観光立国推進閣僚会議に先立ち、平成27年5月16～17日に、安倍総理が和歌山県（高野山・熊野）を訪問。外国人観光客の増加に向けた取組の視察や、**現地の通訳ガイド等との意見交換**を実施。

総本山 金剛峯寺

寺関係者との意見交換概要

出席者：中西啓寶 高野山真言宗管長、
平野嘉也 高野町長、
仁坂吉伸 和歌山県知事



中西管長：開創1200年の記念大法会という記念すべき時期に総理にご訪問頂き感謝。近年、外国人旅行者が急増している。

仁坂知事：ミシュラン・グリーンガイドに掲載されて以降、欧米からの観光客が増加。

平野町長：高野山滞在中の満足度を高めるため、景観維持のほか、案内看板の多言語化、宿坊の外国人対応、トイレの改良等に取り組んでいる。

安倍総理：高野山に来て外国人観光客が増えていく状況を目の当たりにした。南海電車の車内放送が日、英、仏の3カ国語であることに驚き、今後はターゲットを絞った取組が重要であることを認識。

壇上伽藍【公務外】



恵光院（宿坊）

地元通訳ガイド等との意見交換概要

出席者：仁坂吉伸 和歌山県知事、近藤大玄 住職、
松山典子 高野山異文化交流ネットワーク代表、
ジャン・ハットン（豪州からの外国人観光客）



近藤住職：近年、外国人旅行者が増加し、高野山にある宿坊全体の宿泊者の約2割が外国人。ここ恵光院では、半数以上が外国人。阿字観や護摩祈祷、奥の院ナイトツアー等が好評。

松山代表：高野山を訪れる外国人観光客は、空海や真言宗等、歴史・文化に対する関心が高い。**自分たちは、誤った内容を説明しないよう、民間外交官としての自覚と責任をもって対応している。**

仁坂知事：県としても、特に欧米からの観光客の満足度向上に向け、**地域通訳ガイドの養成に力を入れている。**

ジャン女史：自分は豪州で旅行エージェントをしており、多くの観光客を日本に送客。今回はプライベートでの訪問で、高野山を選択。豪州でも日本の関心は高く、スキー以外の様々な場面で、観光客が益々増えると予測。

安倍総理：**満足度を高めるため、ガイドの重要性は分かった。**お話を伺い、自分も宿坊に泊まりたくなった。

安倍総理の和歌山県訪問について（熊野）

熊野本宮大社【公務外】



世界遺産 熊野本宮館

地元観光協会等との意見交換概要

出席者：多田稔子 田辺市熊野ツーリズムビューロー会長、
真砂充敏 田辺市長



多田会長：ツーリズムビューローは、市町村合併時に従来の観光協会の枠を越えた取組を行うために設立。プロモーションだけでなく、旅行業の登録をして着地型旅行商品の販売、外国人職員による案内板の外国語表記等の受入環境の整備、外国人の受入れに躊躇しがちな旅館等を支援するための予約代行など、多様な業務を一元的に行っている。

安倍総理：外国人旅行者が熊野を訪れ、日本の精神文化や歴史を学ぶことは非常に有意義なことであり、それは日本のソフトパワーにつながる。サンチャゴ巡礼道との連携により、スペインからの観光客が多いことに感心。ツーリズムビューローでは、旅行商品の販売も行っているとの話だが、もう少し詳しく知りたい。

多田会長：外国人旅行者の大半が、個人客（FIT）。ネット経由の販売が6割を占め、今後もその割合が高くなることが予想されるので、対応を充実させたい。

真砂市長：「熊野は不便で遠い」とのイメージが強く、二次交通の改善や高野山との連携なども今後の課題。

安倍総理：商品販売や交通問題など、改善点があるのはまだまだ伸びしろがあるということなので、是非頑張ってもらいたい。